

地域環境調整工学（3年生後期配当）シラバス

2001.12.20
辻原 万規彦

授業科目名：地域環境調整工学 担当者：辻原万規彦 履修学年：3年

主題

環境調整の立場から、私達を取り囲む居住環境を如何に創り出していくかについて、考えていきます。対象は、私達が生活している都市、地域の環境とし、関連する様々なテーマを取り上げ、講義します。

履修上の注意

関連する以下の講義とともに履修することが望ましい。

人間環境健康原論，環境設備原論，環境設備システム学，住環境調整工学

使用教材

講義中に配布するプリント，OHP，スライドなど

参考文献

環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社，3,675円）

建築設備学教科書研究会編著「建築設備学教科書」（彰国社，3,670円）

福岡義隆著「都市の風水土 都市環境学入門」（朝倉書店，3,675円）

その他，講義中に適宜紹介します。

成績の評価方法

出席状況，適宜出題するレポートの結果を総合して，評価します。定期試験は行いません。

授業計画

1．地域環境の調整とは？（1～2回）

地域環境調整とは，何かについて概説します。また，講義全体のガイダンスも兼ねます。

2．地域の気候（4～5回）

都市や周辺地域，農村地域などの地域の気候の実態について考えます。都市気候とその仕組み，ヒートアイランド，気象の観測方法，クリマアトラスなどについて，講義し，地域の気候のあり方を考えます。

3．地域の空気（1～2回）

地域の空気環境，特に大気汚染などについて地域の気候と関連させながら，講義し，考えます。

4．地域の音と振動（1～2回）

地域の騒音や振動問題を，空港や国道付近での実例を交えながら，講義し，考えます。

5．地域の光（1～2回）

光害や日照障害など，地域の光にかかわる問題を検討し，考えます。

6．地域の水（１～２回）

都市や地域における河川環境や水環境，親水空間などについて取り上げ，考えます。

7．地域の色（１～２回）

まちの色彩と照明など，対象をアーバンデザインにまで広げて，私達の周りの都市環境について，考えます。